



学校図書館だより

11月号

令和3年11月
柏市立柏中学校
柏市学校図書館指導員
仲野 真由美

通学路や校庭の木々も色づきはじめ、風も少しだけ冷たく感じる季節になりました。五感で秋を探して、言葉にしてみるのも面白いかもしれません。学校図書館では、たくさんの詩人たちの言葉も皆さんを待っています。普段あまり詩集を読まない人も、この秋は1冊手に取って詩の世界をのぞいてみませんか。

「市内中学生ビブリオバトル」開催

「市内中学生ビブリオバトル（知的書評合戦）」の予選では柏中学校代表の佐藤亜美さんが「鎌倉うずまき案内所」を紹介しました。質問にもしっかり回答し素晴らしい発表でした。決勝大会は10月27日（水）に行われました。

チャンプ本 『熱帯』 森見登美彦 著

準チャンプ本 『100の思考実験』

あなたはどこまで考えられるか？

ジュリアン・パジーニ 著

* 柏中は所蔵していません。

購入を予定していますので、お待ちください。



図書館日記



図書館のカウンターに座ると、正面の窓に桜の木が見えます。色づいた葉ががとてもきれいです。

最近、図書館であった嬉しい話です。夏目漱石の本を探している生徒に本の場所を聞かれました。授業で「中学生の今、ぜひ読んでほしい」と先生からお話が合ったそうです。読んでみようと思ってくれました。ありがとうございました！良かったです。いつもとは違う本に手を伸ばしてみるときっと世界が広がります。中学生の今、読んで感じることも、大人になって感じることは違うはずです。ぜひ何年か後にもう一度読んでみてくださいね。

学校図書館指導員

今月のおすすめ

『萩原朔太郎詩集 悲しい月夜』

美しい日本の詩歌14

萩原朔太郎 著 岩崎書店〈911/ハギ〉

初めて朔太郎の詩を読む人にも、手に取りやすく読みやすいという視点で作品を選んだ選詩集です。巻頭には直筆のノートや生家、家族らとの写真、巻末には略年譜が掲載されています。

『一編の詩があなたを強く 抱きしめる時がある』

水内喜久雄 編 PHPエディタース・グループ〈911/ミス〉

ピンク色の表紙が目を引く詩集です。糸井重里、谷川俊太郎、ビートたけしなど様々な人々たちによる、読む人を励まし、育ててくれる詩の数々が収録されています。

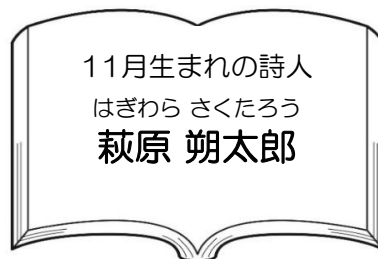
『ポケット詩集』

田中和雄 編 童話屋〈911/タナ〉

学校に行きたくない教師、求婚の広告を出す男、便所掃除をする男など、様々な人物が登場します。まえがきには、「気に入った詩にであつたらなんども読み返し、時には声にだして読んでごらん下さい」とあります。

2年生の国語の教科書に出てくる与謝野晶子の作品も収録されています。

テーマは「詩」 ポケットに詩集1冊しのぼせて…



11月生まれの詩人

はぎわら さくたろう

萩原 朔太郎



萩原朔太郎は、1886年11月1日群馬県生まれの詩人です。中学生の頃から創作を始めました。30歳のとき、初めての詩集『月に吠える』を刊行し、詩人たちに大きな影響を与えました。

2年生の国語の教科書でも紹介されています。

『草野心平詩集』

草野心平 著 ハルキ文庫〈911/クサ〉

草野心平は、1年生の国語の教科書に掲載されている「河童と蛙」の他にも、たくさんの蛙の詩を書いています。みずみずしい詩情・美しいことば。ユニークな蛙の世界があります。



*ライブラリーサーチより一部引用しています。

